

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	ふれあいの郷管理運営事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	保健福祉部	課等名	福祉課		包含する細々目	1	3	1	1	15	1	9,702
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり											
施策	33 共に支えあう地域福祉の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要						
		事業期間	8	年度～	年度	関連計画 条例等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	福祉会館およびふれあいの郷公園	敷地面積 m ²	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			5965.24			
	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	成果指標の数値(実績・目標)			
			18目標	0	最終目標	
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
適正に管理運営される	支障の発生件数	18実績	0	19目標	0	↑
		23目標	0	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	福祉会館およびふれあいの郷公園の管理委託事業(指定管理:飯田市社協)	福祉会館およびふれあいの郷公園の管理委託事業(指定管理:飯田市社協)	福祉会館の利用回数 福祉会館の利用者数 人	3162 50262
	18年度の実績			
	19年度計画	福祉会館およびふれあいの郷公園の管理委託事業(指定管理:飯田市社協)	福祉会館の利用回数 福祉会館の利用者数 人	3000 50000

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	9,900	9,702
	事業費計(A)	9,900	9,702
人件費	正規職員所要時間	18年度 3	19年度 3
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	11	11
	トータルコストA+B	9,911	9,713

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。


目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	市民が共に日常生活を支えあう	近隣で支えあいができて市民の割合	現状値	73.8	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	75
	福祉ボランティア活動をしている市民の割合	近隣で支えあいができて市民の割合	現状値	11.4	19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標	17	

この事業を開始したきっかけ 福祉会館の閉館に伴い、管理運営を飯田市社会福祉協議会に委託して。	事業を取り巻く状況の変化 平成18年度より施設の管理を社協による指定管理とした。	事業に対する市民や議会の意見 今のところはない
---	---	----------------------------

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 福祉の拠点となる施設の適正な管理運営によって、地域の福祉が向上する。	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 対象とする施設が変わらないため。	廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 施設の維持管理ができなくなる。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 施設の適正な管理運営が意図であるため。	他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 市の施設であるため	効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 最小限の事業費で実施している
	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 福祉活動を行うための施設であり、受益者負担を求めているのではない。	公平性評価

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断 必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	